

(書式3)

## 全教科についての指導方法の課題分析と授業改善策

教科名	技術・家庭	教科主任	菅原 考裕
-----	-------	------	-------

### 1、指導方法の課題と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画

#### <第1学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・実習時間を多く取れないので、技能が定着しにくい。</li><li>・実生活とのつながりをイメージしにくい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・実技テストを実施したり、繰り返し学習ができる教材を工夫したりする。</li><li>・ICT等を利用して、苦手な生徒も理解しやすいように工夫する。</li><li>・実生活に即したレポートにより学習の振り返りと定着を図る。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・放課後等に、時間の確保をして、苦手な生徒も基礎的な技能の定着ができるようにする。</li></ul>

#### <第2学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・実習や作品の製作では、同じ指導をしても、生徒の興味・関心によって取組み方に差が出ることが多い。</li><li>・実生活とのつながりをイメージしにくい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・進度が遅れると意欲が低下しがちなので、進度の差が出ないように、机間指導や個別指導を積極的に取り入れる。</li><li>・実生活に即したレポートにより学習の振り返りと定着を図る。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・苦手意識が強くならないように、理解できない生徒への声掛けを多くしていく。</li><li>・意欲が高い生徒は発展的な課題を準備し、より高度でオリジナリティがある作品に仕上がるように指導する。</li></ul>

#### <第3学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・授業時間が少ないため、作品の製作時間が足りない。</li><li>また、十分に理解できていないまま、進んでしまうこともある。</li><li>・実生活とのつながりをイメージしにくい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・作品の制作に関する授業は、TTで行い、制作時間を増やす。また、苦手な生徒や遅れがちな生徒を把握しやすくなるので、アドバイスする機会を増やす。</li><li>・実生活に即したレポートにより学習の振り返りと定着を図る。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・放課後に時間設定をして、製作時間を確保する。</li><li>・3年間で身に付いた技能が十分に発揮でき、さらに、個性が表現できる作品がつけられるように指導する。</li></ul>